



議会 だより

千早赤阪

ちはやあかさか

特集：村づくり常任委員会質疑
教育長インタビュー

目次

- P2 議決結果
- P3 議長コラム、議案紹介、今月の表紙など
- P4 村づくり常任委員会質疑
- P5 教育長インタビュー
- P6～11 一般質問
- P12 ぎかいの窓、雑感、次回定例会の予定

発行 千早赤阪村議会 / 編集 議会広報編集委員会

vol. **155**
Feb 2026
12月定例会

11月臨時会 議決結果

○全会一致で同意された案件

議 案 名	主 な 内 容
教育委員会教育長の任命について	大門和喜氏を同意
教育委員会委員の任命について	森本智美氏を同意

12月定例会 議決結果

○全会一致で可決・同意された案件

議 案 名	主 な 内 容
人権擁護委員候補者の推薦について	田中鈴代氏を適任と認める
固定資産評価審査委員会委員の選任について	炭谷芳輝氏を同意
千早赤阪村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	詳細はP3議案紹介・P4村づくり常任委員会質疑を参照
千早赤阪村の議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の改正について	本村の選挙において、選挙運動のビラやポスターの作成費の公費負担限度額を、国政選挙に合わせて増額する改正
令和7年度千早赤阪村一般会計補正予算（第6号）	村制70周年記念ロゴマーク、キャッチフレーズの募集及びイラスト作成にかかる費用の増等
令和7年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	子ども・子育て支援制度に伴うシステム改修費の増等
令和7年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	
令和7年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第2号）	給付費の増等
千早赤阪村過疎地域持続的発展計画の変更について	詳細はP3議案紹介・P4村づくり常任委員会質疑を参照
議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正について	人事院勧告に伴う改正
千早赤阪村会計年度任用職員の報酬等及び費用弁償に関する条例の改正について	
特別職の職員の給与に関する条例の改正について	
一般職の職員の給与に関する条例の改正について	
千早赤阪村任期付村費負担教育職員の給与等の特例に関する条例の改正について	大阪府教育職員と同等の勤務条件を確保することに伴う所要の改正
令和7年度千早赤阪村一般会計補正予算（第7号）	物価高対応子育て応援手当支給事業にかかる経費の増等
巨大災害発生に対する対応体制整備を求める意見書について	詳細はホームページを参照
太陽光発電設備のリサイクル推進及び適正な廃棄処理に関する意見書について	

1月臨時会 議決結果

○全会一致で可決された案件

議 案 名	主 な 内 容
令和7年度千早赤阪村一般会計補正予算（第8号）	千早赤阪村応援商品券事業及びイベント開催にかかる経費の増等

村議会議長 田村 陽



▼令和8年へ向けて

昨年10月に高市内閣が発足、初の女性首相誕生となりました。「責任ある積極財政」によりバブル崩壊後から続く経済的停滞を打開してくれるのではと国民の期待を受けて高い支持率が続いています。

高市総理は初の女性首相であるとともに、初の奈良県出身総理とのことです。大阪で根強い人気を誇る日本維新の会との連立政権となり、関西にもよい風が吹いてくるのではないかと高市政権の今後に熱く期待しております。

さて、昨年は菊井村長となつて2年目を迎えました。が、4月に大門教育長、また7月には西井副村長が就任され、菊井村政が本格的にスタートした年となりました。また村議会と致しまして、大きく顔ぶれが変わり、行政側・議会側ともに心機一転の年となつたと感じております。

▼青森県東方沖地震

12月8日23時15分頃、青森県東方沖でマグニチュード7.5、最大震度6強という大きな地震が発生しました。令和6年元旦には石川県能登地方を震源とする能登半島地震が発生しましたが、能登半島地震のマグニチュードは7.6、最大震度7であり、1年という短い間隔での大地震の襲来となりました。

マグニチュードが0.2大きくなると地震のエネルギーは2倍になるそうで、一例を挙げると平成23年の東北地方太平洋沖地震はマグニチュード9.0を記録しました。いかに大きな地震だったかが改めてわかります。近い将来、南海トラフ地震の発生が予想されており、我々も気を引き締めていかねばならないと思いを新たに致した次第です。

議案紹介

○千早赤阪村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について

児童福祉法の改正で、新しく「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）」という取り組みが始まります。これに伴い、市町村は、この事業を行う施設の設備や運営方法についてのルールを定める必要があるため制定したものです。

この事業は、保護者が働いているかどうかに関係なく、乳幼児が地域の保育所などに通えるようにするものです。子どもが保育士などの大人やほかの子どもたちと関わり、集団で過ごす経験を通して、成長や発達を支えることを目指しています。あわせて、保護者の子育ての不安をやわらげたり、子育ての力を高めたりすることも目的としています。

○千早赤阪村過疎地域持続的発展計画の変更について

この計画は、令和3年9月に作成した計画の期限が終わるため、現在の計画をベースにして、必要なところだけ最新の状況に合わせて見直しを行い、計画を5年延長するものです。

この計画は、過疎地域に指定されている自治体が、地域を持続的に発展させていくために「どんな取り組みを進めるか」を整理し、事業として進めるためのものです。この計画に沿って事業を行うことで、自治体は特別な地方債（借入金）を活用できるなど、国からより有利な財政面の支援を受けられるようになります。

今月の表紙



森屋 北野 詩子 さん

(うたこ) 3歳

父 学さん

母 恵子さん

すくすく元気に育ってね

あなたの幸せを願っています★

表紙写真 大募集!!

議会だより「ちはやあかさか」の表紙を飾って
いただけるお子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真（複数人でもかまいません）

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話または村ホームページ（村議会）にてご連絡ください。

議会事務局 TEL 0721-26-7168

村づくり常任委員会質疑

千早赤阪村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について（通称、こども誰でも通園制度）

問 利用条件についての定めはどのようなのか。

答 利用に関しては、今後、規則等で定める。住民に広報等で周知説明する。

問 令和8年4月からの事業実施予定となっている。いつ規則等が明らかになるのか。

答 2月から3月になる見通し。

問 条文にある「最低基準」の内容は。

答 最低基準というのは国の法律、基準で定められているもの。国の基準に従って最低基準を定めている。

問 こども誰でも通園制度を利用したいという声が、保護者からは届いているのか。

答 昨年度の教育委員会が実施したアンケートで、約47%が利用したいという結果が出ている。

問 条例第4条にある「子ども・子育て会議」とは。

答 法律で定める事務を処理することが義務づけられており、学識経験者、教育長、保護者の代表、子ども家庭センター職員、校長会の代表、げんきこども園の園長などが委員となっている。

問 この事業のために、追加で保育士を雇ったり、設備を変更したりする場合への補助はあるのか。

答 国の給付事業で、児童1人当たりの単価に利用時間数を乗じた額を実施事業所に対して村が給付する。その他の補助はない。

千早赤阪村過疎地域持続的発展計画の変更について（略称、過疎計画）

問 過疎計画に関して、住民対象にパブリックコメントを実施した結果、一人の意見もなかったとのことだが、どのような対応をしたのか。

答 計画案を村民が閲覧できるように役場施設やくすのきホールに置き、意見箱も設置している。また、ホームページで周知した。

問 各地区長に説明などして、より多くの住民に知ってもらう取り組みは行ったか。

答 区長会での説明は行っていない。

問 村の計画の中の過疎計画の位置づけは。

答 第5次総合計画を過疎計画の基本方針として位置づけている。計画を策定することで、国から有利な財政的支援を受けることができる。

問 過疎計画に掲げる多様な事業に対して、過

疎債を使って行つたための優先順位は。

答 過疎計画は、8年度から12年度までの5カ年の計画として考えられる事業を掲載している。社会情勢も変わっていくので、毎年見直しを行い、新事業を加えたり修正したりして、必要な事業を優先的にやっていくことになる。

問 ふるさと応援寄附金件数、地域おこし協力隊員数の目標値が挙げられているが、その具体的戦略は。

答 まずは、村を知ってもらうことが重要と考えている。公式インスタグラムでは、より多くの閲覧が得られるように取り組んでいる。村のホームページも、村民向けとなっているので、村外からも関心持ってもらえるような工夫を内部で検討している。

問 点在する観光スポットをルート化するとあるが、どんなイメージか。

答 楠公誕生地、棚田、下赤阪の城址などいろいろな場所を歩いて回れるようなルート設定を考えている。そのことで村への観光客が増えることを期待している。

問 観光ルートにはトイレの設置が不可欠だが、考えているのか。

答 ルート設定のなかで考慮していく。



(聞き手：広報編集委員長)



○委員長…本日はインタビューをお受けいただき、ありがとうございます。教育長のお人柄や教育に関するお考えなどを、村民の皆さんに広く知っていただきたいと思っています。簡単な自己紹介からお願いします。

○教育長…中学・高校・大学では、バレーボール部に所属していました。千早赤阪村立中学校に10年間勤務していましたので当村はふるさとのように感じています。その後は大阪府教育庁等を経て府立富田林中学校・高等学校で中学校長を8年務めたのち令和7年4月から教育長として頑張っています。

○委員長…趣味や好きなことはありますか。

○教育長…バレーボールはもちろん、スポーツ全般好きです。ま

た園芸、旅行、音楽が好きです。ジツとできない性分です(笑)。あとは人とコミュニケーションを取ることが好きです。趣味はたくさんあるので、老後は苦勞しないと思います(笑)。

○委員長…多趣味なんですね(笑)。お話を伺うと、何事にも楽しんで実践されている印象を受けます。

○教育長…そうですね。ただ、学生時代の宿題や試験は嫌でした(笑)。教師になって作る側に回ることになりましたが(笑)。

○委員長…学生時代の思い出を通して、生徒達の気持ちは良くお分かりになりますか(笑)。

○教育長…良く分かります(笑)。試験勉強の辛い思いはもちろん、悪戯をする生徒の考えていることは、手に取るようにわかります(笑)。

○委員長…ご自身の経験が教員時



大門教育長

代に活かされたのですね(笑)。人と話すことが好きということでしたが、昔から自分を表現するということは得意だったのでしょうか。

○教育長…最初からではなくて、「生徒達に適切に教えたい」、「講演で明確に伝えたい」、その思いがあつて、体験を重ねてきた結果だと思っています。

私は、「一意専心」という言葉が好きなのですが、好きなことに熱中して取り組んでいくことで、人脈も広がり考えの幅も広まったと思います。

○委員長…ポジティブな考え方で、非常に好感を持ちます。今後、何かチャレンジしたいことはありますか。

○教育長…何事でも、知らない分野を勉強したいです。広い視野を持ち、また多様な方々と交流することで物事をより柔軟に判断できるようになればと思います。

○委員長…そのお考えは、教育長の教育方針とも関係してくるのではないのでしょうか。

○教育長…そうですね。子ども達自身も世の中のことに興味関心を持ち探究を進めること、グローバルな体験の中から多様な方々とコミュニケーションを図ることで、自分の長所・短所を見つめ直す機会になると考えています。

います。子ども達には、幅広い体験を積んでほしいと思います。

○委員長…議会に対して、どのような印象をお持ちですか。

○教育長…議員の方々には、アットホームに接していただき、非常に感謝しています。

○委員長…昨年11月に再任して教育長としての抱負や、施策を進めていくうえで大切なことを教えてください。

○教育長…まず、自身が一生懸命頑張ります！

そして、未来の人材育成に向けて共に頑張る仲間つまり千早赤阪村教育委員会というチームを大事にしたいです。

一つの目標に向かい、メンバーそれぞれが思いやりそしてプライドを共有し頑張っているチームとなるよう頑張ります！

○委員長…本日は興味深いお話ありがとうございました。

委員長のコメント

教育長のお人柄で一番印象的だったのは、何事もポジティブに変換して取り組まれる姿勢です。バレーボールの指導者、教育行政、中高一貫校での仕事など、好奇心をもつて精力的に取り組まれてきた方だと理解できました。これから村の子どもたちのために力を尽くしていただけることと思います。



井上浩一議員

問 感震ブレーカー

は震度5強以上の揺れを感じると自動的に電源を遮断し通電火災を防ぐ装置。

村の現況を踏まえ地

震火災対策としての課題

認識を問う。また、他事

例を踏まえ設置促進の方

針を伺う。

答 減災に有効だと認識

するが、まずは広報等に

よる周知に努める。

問 感震ブレーカーへの

普及啓発活動には特別交

付税措置されるので積極

的に願う。村独自の助成

制度も検討すべきと考え

るが。

答 他の状況も見ながら

判断する。

問 実物展示や実験コー

ナー等を取り入れてはど

うか。

答 行事等でPRに努め

る。

要望

具体的な計画・実

施に向けて検討を願う。

買い物難民対策を

問 買い物難民とは交通

手段や店舗の減少などに

より日常生活必需品を

容易に購入できない人々

を指す。村で把握されて

いる買い物支援は、また

過去に施された施策は。

答 村が把握している買

い物支援は、いずみ市民

生協、セブン・イレブン

などの移動販売。

移動手段確保をバス運

行、地域公共交通利用助

成で行っている。

問 効果測定等している

のか。福祉等につながっ

ていない方の把握はでき

ているか。現状の施策で

十分だと考えているの

か。

答 バスの千早線、R6

年度利用実績は約10万

人。アンケート調査を行

った。助成制度の登録者

は増加傾向、利用範囲の

拡大も行った。空白地域

についても今年度中に二

ーズ調査を行う。

要望 効果測定の定期

化、結果の公表を。交通

施策と福祉施策の連携強

化を。アンケート結果を

施策に反映する。官民連

携の強化を。国・府との

連携強化を。

公共施設の在り方

検討は

問 前回の質問後の進捗

と要望事項について伺

う。

答 第2回検討会で千早

診療所、旧千早小学校、

倉庫2棟の4施設につい

て資料を基に意見交換を

行った。今回は個別施設

計画の改正案を策定した

い。給食センターは広域

での検討を踏まえ、民間

に調査委託を検討。

問 検討会は職員のみで

構成だが、専門知見が必

要だ。外部有識者を入れ

公開での検討は出来ない

のか。

答 村は国や府の助言、

外部の専門知見を活用し

調査や対応策提案の外部

委託も視野に入れる。会

議の公開はしない。案を

示し議論を経て決定す

る。

問 職員のみでは検討の

幅を狭めるのでは、また、

非公開は逆に不信感を招

くのではないか。

議事概要や過程を公開

することはしないのか。

答 内部議論の場であり

方針決定は別に行う。必

要に応じ外部知見は取り

入れる。住民参加の考え

はない、議事概要の公表

は検討する。

要望 専門知見の活用、

透明性の確保と住民参加

が重要。納得できるプロ

セスを願う。

環境保護対策について

問 村内における不法投

棄・ポイ捨ての実態把握、

プラスチックごみゼロ宣

言の具体的な推進施策・

宣言に込めた理念と価値

観について、今後の条例

化や制度整備の可能性は。

答 ポイ捨ての実態把握

は行っていない。不法投

棄は、通報があれば現場

確認を行い、その場所は

不定期に職員が巡回す

る。今の環境条例に基づ

き、魅力あふれる千早赤

阪村を目指す。新たな制

度整備は考えていない。

要望 「プラスチックご

みゼロ宣言」や「環境条

例」はあるが、理念のみ

で実務的に十分とは言え

ない。具体的な美化条例

等の検討をしてほしい。



問

村民の健康寿命を延ばすために

答

きめ細かな保健指導に取り組んでいる

中野智子議員

【要望】 今後、委託業者により実施される

者により実施される。今後、委託業者により実施される。

役場バス停へのベンチ等の設置は、特定の箇所に

役場バス停へのベンチ等の設置は、特定の箇所に

奨励活動も実施している。

【答】 糖尿病性腎症重症化予防事業は、かかりつけ医との連携が必要のため、協力依頼をし、事業説明を行っている。今年度より業者委託を行い、専門的な資格者が、きめ細かな指導に取り組んでいるところ。電話による勧奨活動も実施している。

【答】 設置スペースの確保、占用許可、承諾などの管理上の問題により、バス停待合用ベンチの設置は考えていない。また、

【問】 高齢者の住民サービスを充実するために、役場バス停等へのベンチの設置や雨をしのぐ環境が必要ではないか。

バス停に、ベンチの設置や雨をしのぐ環境づくりについて



役場前バス停

て、新たな試み

て、新たな試み

【答】 「にぎわい元気まつり」は、各課が個別に行っていたイベントを統合し、村内外の各種関係機関に協力を得て、新たな試み

【答】 「にぎわい元気まつり」は、各課が個別に行っていたイベントを統合し、村内外の各種関係機関に協力を得て、新たな試み

を借りて、「にぎわい元気まつり」の内容を充実させ、住民の満足感をあげる

【答】 「にぎわい元気まつり」は、各課が個別に行っていたイベントを統合し、村内外の各種関係機関に協力を得て、新たな試み

【問】 「にぎわい元気まつり」について、村民の意見を計画の中に組み入れることで、より充実したものになるのではない

【答】 「にぎわい元気まつり」は、各課が個別に行っていたイベントを統合し、村内外の各種関係機関に協力を得て、新たな試み

村で実施されるイベントについて

として実施した。当日は複数の要素が組み合わさることで、単独で行う効果を超越する成果があった。

【答】 「にぎわい元気まつり」は、各課が個別に行っていたイベントを統合し、村内外の各種関係機関に協力を得て、新たな試み

【答】 「にぎわい元気まつり」は、各課が個別に行っていたイベントを統合し、村内外の各種関係機関に協力を得て、新たな試み



9月議会で要望した万博後の村への効果は



村の魅力を国内外に広く発信できた



南本 斎議員

問 9月議会で要望した万博後の村への効果は。

答 村の魅力を国内外に広く発信できた。村として積極的な働きかけをしたのか一切、答弁がなかった。第2回農と緑の活性化推進会議で、大阪府と共に村が考える将来図は。

答 具体的な取り組みを検討。今後令和7年度末を目標に農と緑の活性化ビジョン(案)を策定する。

要望 活性化事業は大阪府の事業でなく村の事業自覚を持ち推進すること強く要望する。

未来協議会について

問 未来協議会内の基礎自治機能充実強化協議会で、村としてどのように能動的な働きかけを行っているのか。

答 大阪府のコーディネートを得ながら村の発展成長に向けて、具体的に取り組む。

問 日頃から連携のある

市に対して本協議会に参画するよう村から働きかけの予定はあるのか。

答 協議会の合意のもとで行うものであり、本村が単独で働きかける考えはない。

要望 大阪府からの提案に身を委ねるだけではなく、村としてどのような意識で様々な事柄に取り組み、これらの将来に対して考えを構築していくかを今、考えるべき。

次期過疎計画案の策定状況は

問 過疎地域持続的発展計画の中間評価及び後期計画の策定に対して、将来を見据えた村の考えは

答 前期計画はおおむね計画どおりの実績。後期計画は社会情勢に応じた施策を追加し、地方財政措置を活用しながら村の発展に向けて取り組む。

問 6月議会の要望で、近畿県内の小さな自治体の取り組みを研究してはと要望したがその後村の取組状況は。

答 具体的な調査研究は行っていないが他の自治体の取組事例を参考に、検討を進める。

問 なぜ調査研究をしないのか。

答 大阪過疎地域勉強会を実施しており、各市町の企画や財政担当による情報の共有や意見交換を行っている。

要望 和歌山県北山村の村長が自分の村は自分たちで守らないと誰も助けられないと言われた。日頃から村独自では限界があると言われるが、今こそ村の活性化同様、過

疎対策に対して真剣に考えるべき。

農道整備事業について

問 農道整備事業の減額から9カ月が経過、担当部署として今後施策を進める考えがあるのか。

答 大阪府の支援を受け村の活性化の中で農業振興も含め、ワーキングにおいて検討を進めている。

問 村としての考えや思いが全く伝わってこない。農林業振興施策の考えを改めて訪ねる。

答 ワーキングにおいて人づくり、物づくり、場づくりの具体的な取り組みを検討中。

問 具体的に圃場整備を進めるのであれば農道整備事業を取り止めた桐山地区に声かけを行うことや村全域でも展開をする考えがあるのか。

答 次回の農業委員会で桐山地区農業委員に圃場整備事業の説明をする。

要望 持続可能な農業があつてこそ持続可能な早赤阪村となる。桐山地区の次の一手として村全体に拡大していくことを切に願う。

和歌山県北山村令和7年度当初予算(歳入)

区分	項目	構成比	金額
自主財源	村税	3.8%	7,870万円
	使用料及び手数料料等	6.4%	1億3,011万円
	寄附金	19.4%	4億円
	繰入金	11.2%	2億3,094万円
	繰越金	2.4%	5,000万円
	小計	43.2%	8億8,975万円
依存財源	村債	9.3%	1億9,120万円
	県支出金	6.1%	1億2,592万円
	国庫支出金	5.9%	1億2,101万円
	地方交付税	33.5%	6億9,000万円
	地方譲与税等	2.0%	3,978万円
	小計	56.8%	11億6,791万円
全 体	歳入合計	100%	20億5,776万円

人 口：男181人 女201人 合計383人
世 帯 数：237世帯
高齢化率：41.3%
面 積：48.2K㎡
・村の総面積の93%が森林

和歌山県北山村のデータ
(令和7年7月末現在)



少人数を活かした教育の取り組みの現状と課題は



1年～6年の縦割り班での活動や小学校間の交流学习に取り組んでいる

畑 智恵美議員

【要望】 未来プランでは、「地域を愛し、

国を愛し」と集団主義的な目標を掲げ、少人数を活かした具体的な取り組みがみえない。トップダウンではなく、地域住民、学校関係者、子どもたちと一緒に作るコミュニティ・スクールを目指してほしい。

【答】 1年から6年までの縦割り班での遠足や集団遊び、小学校間の交流学习などに定期的に取り組んでいる。さらに、コミュニティ・スクール導入で充実させる。

【問】 コミュニティ・スクール準備のプロジェクトチームのメンバー構成と、そこでの話し合いの内容は。

【答】 準備段階での内容は公表できない。大学教員などの識者、学校長、地域代表、保護者の参加で、未来プランに基づいて話しあっている。地域、保護者の代表は教育委員に委嘱した。

重層的支援体制整備事業の取り組みと現状は

【問】 重層的支援体制整備事業は、地域福祉の推進、地域共生社会の実現を目指して、社会福祉法に規定された事業。子ども、障がい、高齢、生活困窮などの縦割りではなく包括的に支援することができるとされている。今年度開始のこの事業の目的と目標は。

【答】 住民福祉に関わる業務が保健センター同一フロアにあるため、横断的に連携しやすい。さらに教育、社協、支援機関との連携が図れ、効果的支援が可能。福祉専門職を配置で必要な人に適切な支援が届くことが目標。

【問】 この事業での進捗や支援の実績は。

【答】 支援関係者間での連携会議、ケース検討等で、顔の見える関係構築。相談者は11名、重層的支援会議9回等の実績あり。対象者への定期的訪問も実施している。

【問】 この事業での地域づくりの取り組みは。

【答】 社協に委託して実施。地区福祉委員会、生活支援コーディネーター（専門職）などの協力・連携で地域の支え合いを促進する。

【要望】 この事業で重要なことは、誰も排除しない地域のつながりづくりである。いきいきサロンは高齢者限定ではなく、普段から、子どもたち、地域のどんな人にとっても居場所としての機能を持たせるべき。

新モビリティバス 実証実験の現状と 村の今後の対応は

【問】 新モビリティバスの実証実験は相次ぐ不具合を受け、国土交通省の指導が入り、実証実験延期となっている。この事態を村はどのように考えるのか。

【答】 大阪府と大阪メトロが共同で実施している事業。安全性の確保が最も重要。実証実験の開始が遅れることはやむを得ない。

【問】 仮に村に新モビリティバスが導入された場合、安全性の保証は。維持管理などの財政的負担は。

【答】 実証実験後について現時点で具体的には決まっていない。

【問】 具体的な回答がないが、現状の技術面から見て村にとってのメリットは少ないと思う。村が参加する意義は何か。

【答】 新モビリティの導入は、公共交通の運転手不足という課題への有効な対応策であり、万博のレガシーが、他地域に先行して南河内の実証運行されることは、観光コンテンツとしても期待でき、村の活性化にも寄与する。大阪府、メトロ、近隣市町と引き続き協議連携していく。



走行予定11人乗
自動運転バス

【要望】 自動運転バスは、道路の白線の不備、道路端の草木、祭りののぼりなど感知しても、走行できなくなるとのこと。車体のトラブル含め、技術的な課題は大きく膨大な費用を要する。

村は、技術的な確立後に導入を検討すればよい。急ぐべきは、公共交通空白地域対策。

その他、介護保険制度に対する村の取り組みと考え方について質問・要望した。



過疎地域からの脱却について



有利な地方財政措置を最大限に活用し 施策を推進する



尾崎充宏議員

問 どのような状況になれば、過疎地域から脱却できるのか、伺う。

答 令和3年の指定に当たり、適用された要件は人口要件と財政力要件である。（下表参照）

現行の特別措置法では、法律が有効である間は過疎地域を卒業しないよう配慮されており、令和13年3月末とされている本法律の期限をもって改めて国において法律の対応など判断される。

問 過疎地域からの脱却は難しいと思う。改めて過疎地域持続的発展計画策定の意義や必要性を伺う。

答 第5次千早赤阪村総合計画と整合性を図りながら実績を踏まえた既存施策の見直しを行う。

村の各種施策について過疎対策事業債や国庫補

助率のかさ上げといった手厚い財政支援の対象を決める根拠として非常に重要な計画である。有利な地方財政措置を最大限に活用しながら施策を推進し村の発展に向けて取り組む。

表 過疎地域の指定に関する要件

区分	期間	基準値	本村の値
人口減少率	平成2～27年	21%以上	29.5%
財政力指数	平成29～令和元年	0.51以下	0.304

※人口要件と財政力要件の基準を満たし、過疎地域と指定された

要望 過疎地域持続的発展計画には村道の整備について記載がある。村道整備を行うよう強く要望する。

災害連携協定の状況について

問 様々な団体と連携及び応援協定を締結しているなか、村内企業との連携が少ないと思う。現在の締結の状況を伺う。

答 締結件数は37件で大阪府や近隣の市町との連携協定、また複数の企業との応援協定を締結しており、村内の団体、企業との締結件数は5件である。

問 もう少し村内の企業との連携も重要ではないか。

答 村内の企業との連携も重要と思う。

要望 ガソリンス



自動運転バスの走行ルート
（出展：大阪府作成「南河内新モビリティプロジェクト リーフレット」抜粋）

要望 タンドや、運送業者など様々な応援を期待できる企業があると思う。積極的に村内企業、団体との災害応援協定の締結を検討して頂きたい。

新モビリティ導入に向けた実証実験について

問 現在の自動運転バス導入に向けての検討状況と、村の取り組みを伺う。

答 当初の予定では11月から乗客なしの実証実験を半年間実施した後、令和8年度から3年間で乗

客ありの実証実験を行う予定であったが、既に報道されているとおり、スケジュールは、再検討中。他の地域に先行して、南河内地域で実証運行されることは、村の活性化にも寄与するもので、村にとってもメリットが大きいと考える。

問 安全走行のためにも道路を始め環境整備も必要と考えるが。

答 運行ルートとなる富田林五條線などの府道において舗装や除草といった整備がさらに進むものと期待する。



問

村の活性化に向けた取り組みは

答

金剛山周辺の活性化、村内観光、道の駅の充実、農業振興などに取り組む

建石和則議員

今後、本推進協議会を中心にワーキンググループ会議を随時開催し、今年度末を目標に千早赤阪村活性化ビジョン（案）を策定する。来年度以降は実現可能事業を速やかに実施すると

している。

学校給食センターに

化は調査費の段階から国

今後、本推進協議会

開始され、改良区間の村有

給食センターのあり方について

公共施設の統廃合や

どのようなスケジュールで進めるのか。

このたび本事業が開始され、改良区間の村有

南河内2町1村未来協議会においては、給食

共同利用は国からの財政

今後、本推進協議会

開始され、改良区間の村有

南河内2町1村未来協議会においては、給食

共同利用は国からの財政

今後、本推進協議会

開始され、改良区間の村有

南河内2町1村未来協議会においては、給食

共同利用は国からの財政

今後、本推進協議会

開始され、改良区間の村有

南河内2町1村未来協議会においては、給食

共同利用は国からの財政

今後、本推進協議会

開始され、改良区間の村有

南河内2町1村未来協議会においては、給食

共同利用は国からの財政

今後、本推進協議会

開始され、改良区間の村有

南河内2町1村未来協議会においては、給食

共同利用は国からの財政

今後、本推進協議会

開始され、改良区間の村有

南河内2町1村未来協議会においては、給食

共同利用は国からの財政

今後、本推進協議会

開始され、改良区間の村有

南河内2町1村未来協議会においては、給食

共同利用は国からの財政

今後、本推進協議会

開始され、改良区間の村有

南河内2町1村未来協議会においては、給食

共同利用は国からの財政

今後、本推進協議会

開始され、改良区間の村有

南河内2町1村未来協議会においては、給食

共同利用は国からの財政



学校給食センター

府道富田林五條線の線形改良について

富田林五條線は、重要な道路である。早期

建物には新耐震基準をクリアしているが、土地

他の公共施設の検討にも

中学校下の府道富田林五條線は、村から府に

富田林五條線は、重要な道路である。早期

建物には新耐震基準をクリアしているが、土地

他の公共施設の検討にも

中学校下の府道富田林五條線は、村から府に

富田林五條線は、重要な道路である。早期

建物には新耐震基準をクリアしているが、土地

他の公共施設の検討にも

中学校下の府道富田林五條線は、村から府に

富田林五條線は、重要な道路である。早期

建物には新耐震基準をクリアしているが、土地

他の公共施設の検討にも

中学校下の府道富田林五條線は、村から府に

富田林五條線は、重要な道路である。早期

建物には新耐震基準をクリアしているが、土地

他の公共施設の検討にも

中学校下の府道富田林五條線は、村から府に

富田林五條線は、重要な道路である。早期

建物には新耐震基準をクリアしているが、土地

他の公共施設の検討にも

中学校下の府道富田林五條線は、村から府に

富田林五條線は、重要な道路である。早期

建物には新耐震基準をクリアしているが、土地

他の公共施設の検討にも

ぎ か い の 窓

○令和7年度総合防災訓練（11月9日・B&G海洋センター及び村民運動場）

村と内閣府・大阪府が合同し、村内の5地区が主体となり実施されました。訓練内容は、大地震による孤立集落の状況把握や集落内の被災者支援をテーマとして、ドローンによる物資輸送訓練や備蓄食材を用いた炊き出し訓練などでした。対象地区の議員も、参加者の一員として訓練に携わりました。今後も、このような訓練を継続し、防災体制の強化に取り組んでいただきたいと思います。



防災訓練の様子

○地域子育て支援拠点「ひまわり」クリスマス会（12月22日・保健センター）

「ひまわり」のクリスマス会に

お邪魔しました！
サンタクロースと無邪気に遊ぶ子ども達や温かく見守るご家族の方々と触れ合い、楽しいひと時を過ごしました。

また、ご家族の方々と、日々の暮らしの困り事や悩み事等の意見交換を行いました。皆さんの意見を真摯に受け止め、住みよい村で在り続けるために議員一同尽力していきます。



クリスマス会

○二十歳のつどい（1月12日・くすのきホール）

当日、我々議員は来賓として招待され、新しく二十歳を迎える若人の晴れやかな姿を目に焼き付け、感無量でございました。無事に二十歳のつどいを迎えられたことを心よりお祝い申し上げますとともに、これからのご活躍をご祈念申し上げます。

尾崎

次回定例会の予定



3月4日(水)から3月19日(金)です。

3月4日(水) 本会議 初日(議案上程) 午前10時
3月5日(木) 本会議 2日目(一般質問) 午前10時

3月6日(金) 村づくり常任委員会及び
予算常任委員会(1日目) 午前10時
3月10日(火) 予算常任委員会(2日目) 午前10時
3月11日(水) 予算常任委員会(3日目) 午前10時
3月12日(木) 予算常任委員会(4日目) 午前10時
3月19日(木) 本会議 最終日 午前10時

上記日程は、状況により変更になる場合があります。

本会議及び各種委員会は、傍聴できます。(定員10人)

1階フロアの設置モニターにより議会の様子を見ることができます。

本会議の様子をYouTube配信していますので、ぜひ視聴ください。



議会事務局 TEL 0721-26-7168
議場・議会事務局は、千早赤阪村役場庁舎3階

雑 感

先日、日本の良さを再確認する出来事がありました。

若い世代の人たちの集う会合にて。学生時代の話題に花が咲き、続いて現況を話し始めた頃「日本の給料の三倍よ」とか「人の目を気にせず楽」「多民族で楽しいよ」と海外で暮らす二人が話し出すと、周囲からは一斉に羨望の眼差しが向けられました。

しかし、話が進み日々の生活の話題になると、物価は日本の三倍以上であったり、治

安のよくない話では今年だけでも銃での殺人は三千人を超え、子どもの誘拐は頻発していて安心で安全な暮らしではないこと等、不安を打ち明け始めていました。

傍らで聞いていた私は、有名な詩を「ふるさととは遠きにありて思ふもの、そして嬉しくうたふもの」と言い換え、この若い世代の人達がいつの日か日本に帰りたいと思うとき、訪れる人々を何時でも温かくお迎えできるこの日本、この村の将来を私たちがしっかりと守らなければ、思っただけでした。

南本

広報編集委員会

委員長	畑 智恵美	副委員長	中野智子
委員	井上浩一	委員	南本 斎
委員	尾崎充宏	議長	田村 陽